

# スクラム

～ 立志・挑戦・感動～

## 浮羽中学校学校通信

第32号（11月11日発行）  
文責 校長 高倉 満

期末考査・部活動・受験勉強・・・ すべきことはたくさんある！  
今すぐやりなさい 自分自身でやりなさい 最善を尽くしなさい

□「雨だれ石をうがつ」という言葉があります。軒下から落ちる細かい、弱い雨だれでも、長い間同じ所に落ち続ければ、ついには硬い石に穴をかけることができるということです。つまり、小さな力でも、それに打ち込んで努力すれば、どんな困難な壁でも突破できるというわけです。「雨だれ石をうがつ」という言葉は、努力ということの偉大さを讃えています。つまり、自分に向かって自分はどれだけ努力をしたか、頑張ったかを問い続ける人であれば、その人は必ずよい結果が得られるという意味だと思えます。学習でも運動でも、芸能の世界でも、結果はすべて努力次第ではないでしょうか。あの発明王エジソンも「成功とは結果で量るべきではなく、それに費やした努力の総計で量るべきである。」と言っています。また、「天才とは1%の靈感と99%の汗のことである。」とも言っています。このように、人間の偉業には必ず偉大な努力が伴っています。でも、最近どうかすると結果にばかりとらわれすぎて、努力が忘れられていることがないでしょうか。例えば部活の試合の結果で「勝つ」ということは大切ですが、「勝つ」という結果がどのようにして生まれたのか、そこに至るまでの過程で、どれだけ頑張ったのかという努力の問いかけが大切だと思います。「栄光の陰に涙あり」という言葉もあります。涙あってこそ、努力があってこそ、栄光という結果が輝くのだと思います。最後に努力について、言葉を紹介します。「今すぐやりなさい（今やらなくていつやる）。自分自身でやりなさい（自分がやらなくて誰がやる）。最善を尽くしなさい（中途半端で何ができる）。」という言葉です。これは「今日できることは明日に延ばさないで、今すぐやりなさい。自分でやるべきことは人に頼らず自分でやりなさい。いい加減にやるのではなく、最善を尽くしてやり遂げなさい。」ということだと思います。3年生は進路実現に向けて、1・2年生は充実した学校生活や、部活動での新チームづくりに向けて、納得のいく「努力」を積み上げていきましょう。

## 11月は読書週間！！ 11月1日（金）～29日（金）

□図書館でも、みんなが楽しめる取組を企画しています。また文化委員会も「クイズパイオニア」も開催します。たくさん読書を楽しんでください。



読書週間

### ～子どもの思考や感情を豊かに～

子どもの成長には、特に読書がキーワードになると言われています。本の読むことによって、子どもの内にある「言葉」が育つからです。私たちは言葉を積み上げて考えます。言葉を通して感じます。例えば「肌寒い」という言葉で、感覚と輪郭が与えられます。さらに、本を読むことは子どもの語彙を増やしていきます。子どもの思考や感情を豊かにします。読書を通して得られるものは、新しい知識や視野、考える力、判断する力から、悩んでいる・迷っているときに背中を押してくれるものまで様々です。本を読むことで興味や関心の幅が広がり、新しい世界への知的好奇心も高まります。

### 11月行事予定

12日（火）クイズパイオニア	13日（水）2年生修学旅行説明会・PTA合同委員会	
14日（木）職員会・薬物乱用防止教室	15日（金）クイズパイオニア	
17日（日）期末考査前部活中止	18日（月）定時退校日	20日（水）期末考査
21日（木）期末考査・校内研修	22日（金）期末考査・道徳推進教員研究会	
25日（月）学力向上学習会・ノ一部活	27日（水）生徒会委員会活動・道徳振り返り	
29日（金）男女共同参画社会授業（3年）	12月3日（火）学教部実践交流会（部活中止）	4日（水）PTA理事会